

十勝勢続々表彰台 初の表彰台

A. S. H. カップ軽自動車5時間+ロスタイム耐久



序盤から上位をキープ、大津弘康の「あんたたちカプチーン」が快走する

1クラス あんたたちカプチーン2位 DRYチームは3位

Vitz チョットかしてね★SKスポーツ

【更別】A. S. H. カップ軽自動車耐久レースの今季最終戦となる5時間+ロスタイム耐久が8日、十勝インターナショナルスピードウェイ(TIS)グランプリコースで行われ、1クラスで「あんたたちカプチーン」(大津弘康)が2位、「DRYチーム」(大橋博孝、内藤健次、田辺剛)が3位に入り、ともに初の表彰台。Vitzクラスは「チョットかしてね★SKスポーツ」(鹿内邦宜、長川秀一)が優勝するなど、十勝勢が活躍した。年間を通じて最大参加台数のレースで、全道から74台が出走、予選と決勝を行った。(横田光俊)

が重要だった。初の表彰台を目指して序盤から快走した1クラス「あんたたちカプチーン」の天津弘康(38)は上野町。昨年は「チーム」を立ち上げてから走り回っていた。レースは1人で5時間18分を走り抜いた疲労の中で、レース後に最高の笑顔を見せた。足寄レーシングチームの約15年前からレースに参加。チームにとっても初の表彰台だ。総監督の加藤義昌さんは「3回の給油のタイミングを正確に測った。最後のロスタイム20分は想定より長かったが、最終盤にドライバーがラップを慎重に落とさず走り回った」と振り返る。



一時は総合3位に浮上する強さでクラス優勝した「チョットかしてね★SKスポーツ」

「序盤に総合20位くらいまで順位が下がった。しかし上位が崩壊していった(内藤)と我慢を続けて上位に浮上した。マシン(VITVO)の整備士らで参戦2台とも完走。上田自動車工業が88周(中山、高橋博孝)が87周(大橋博孝、内藤健次、田辺剛)の同級生同士で結成のチーム。5年ほど前からレースに挑戦。初の表彰台を決めて、表彰式後に肩を組んで喜んだ。

「燃費の効果が(大橋)皆で頑張った。走り切った(田辺)と、3人は笑顔でレース展開を振り返った。

「サーキットの存続も決まっただけ。会社の団結心もレース参戦で高まる」とモチベーションを企業活動に生かしている。(各クラス3位まで)

△決勝 (各クラス3位まで)
1クラス①アサヒ②アサヒ③アサヒ④アサヒ⑤アサヒ⑥アサヒ⑦アサヒ⑧アサヒ⑨アサヒ⑩アサヒ⑪アサヒ⑫アサヒ⑬アサヒ⑭アサヒ⑮アサヒ⑯アサヒ⑰アサヒ⑱アサヒ⑲アサヒ⑳アサヒ㉑アサヒ㉒アサヒ㉓アサヒ㉔アサヒ㉕アサヒ㉖アサヒ㉗アサヒ㉘アサヒ㉙アサヒ㉚アサヒ㉛アサヒ㉜アサヒ㉝アサヒ㉞アサヒ㉟アサヒ㊱アサヒ㊲アサヒ㊳アサヒ㊴アサヒ㊵アサヒ㊶アサヒ㊷アサヒ㊸アサヒ㊹アサヒ㊺

念願の2位表彰台を決めた大津弘康(左から2人目)と「あんたたちカプチーン」チーム

初の3位表彰台を決めた「DRY」チームの大橋博孝、内藤健次、田辺剛(左から)

クラス8、9位で2台の完走を果たした上田自動車工業チーム(前列右から入員が上田剛則社長)

山本アジア初優勝

自転車 昨年2位の雪辱果たす



アジア選手権初優勝を飾った山本幸平(日本自転車競技連盟提供)

自転車マウンテンバイクの第15回アジア選手権大会がロシアのウラルで8日、マレーシアのマラッカで行われ、男子エリートクラスで昨年の北京五輪日本代表、幕別町出身の山本幸平(24)がチームメイトの山本幸平(24)とチームメイトのアウトドア専門学校、菅野高田から1時間45分59秒で初優勝を挙げた。2位の陳振興(香港)とは1秒差だった。昨年準優勝だった山本は今回見事にアジアチャンピオンに輝いた。

日本人男子の優勝は2004年以來5年ぶり。

チームコイズミ初V

フットサルエンジョイ大会

ハラデンキに1-0



【決勝】チームコイズミ(ハラデンキFC)ドリブルで駆け上がるチームコイズミの(左)児玉悠(右)予選から合わせて15ゴールを挙げた

フットサルの第2回エンジョイ大会(十勝フットサル連盟主催、帯広地区サッカー協会主催)が8日、帯広の森体育館で行われた。決勝はチームコイズミが開始早々に児玉悠がゴールを決り、ハラデンキに1-0の完封勝利を挙げた。大会は連盟への登録の有無に関係なく実施、16歳以上の学生、社会人の10チームが出場し予選リーグと順位戦を繰り返した。(大野篤志)

28点中15得点 エースの役割 児玉悠 ○:チームコイズミは決勝の開始直後、DFからロングパスを受けた児玉悠が相手DFと競り合いながら抜け出して左足でシュート。この先制ゴールが決勝点となった。チームが予選から決勝までの5試合で挙げた28点中、児玉は15得点。エースとしての役割を十分に果たした。

優勝したチームコイズミ

準優勝のハラデンキFC

かちまいスポーツ

記録の速報はkachimai.mobi
Eメール sports@kachimai.co.jp
写真がほしい 011-202-259-6410 FAX 011-202-259-2700

世界王座狙う!

一大道塾帯広支部 佐々木・池田
放送予定 10日(火)~15日(日)

総合格闘技「空道」の世界選手権に帯広から2選手が日の丸を背負って戦いに挑みます。空道歴わずか1年ながら国内予選を1位として通過し、日本のエース木村治選手と写真左と、5級の黄色帯で全日本選手権を制して代表を獲得した若手のホープ池田準太選手。血のにじむような過酷な鍛錬を積み重ね、世界一を目指す2人のファイターを紹介いたします。ほかには、小学アイスホッケーなどのダイジェストを放送。(長瀬雄太)

NHK杯

帯広第一病院
0110-20101
0110-21010
61

残り1試合の帯広一帯二・帯六を行う。12日に3位決定戦、13日に決勝を行う。各試合とも午後5時から同アリーナで実施。

△準決勝
清水・御影 7-0 11 4 帯広一帯二
4-1 2 1 帯六
▽得点者(清水)川村、武田、橋本、佐藤、本田、川平、鈴木
▽反則(清水)5(自由、内尾、上本、チー、)帯七、鈴木、川平、堀倉、早坂
▽シュート数(清水)41、12、13
16(帯七)8、8、10
▽審判(帯七)田村、富岡

アイスホッケー

清水・御影決勝へ
アイスホッケーの第52回NHK杯争奪全日本大会中学生の部は9日、帯広の森体育館で行われ、清水・御影が帯広一帯二を破り、決勝進出を果たした。10日は、準決勝